

平成28年度 玉川大学APシンポジウム

大学教育の質保証に 向けた取り組み

入口から出口を見据えて

大学教育再生加速プログラム(以下、AP)は、大学教育の質的転換の加速を促し、大学の人材養成機能の抜本的強化を図ることを目的に、平成26年度より文部科学省が「アクティブ・ラーニング(テーマⅠ)」、「学修成果の可視化(テーマⅡ)」、「入試改革・高大接続(テーマⅢ)」、「長期学外学修プログラム(ギャップイヤー)(テーマⅣ)」のテーマで募集したものです。平成28年度には、新たにテーマⅤとして「卒業時における質保証の取組の強化」が加わり、テーマⅠ～Ⅴは AP における「高大接続改革推進事業」として位置付けられました。

この背景には、各大学が入口(入学)から出口(卒業)まで質保証を伴った大学教育を実現し、テーマ間の連携を緊密化した総合的な取組を一層強力に推進していくことへの期待が込められています。

本シンポジウムでは、上記テーマⅢの追手門学院大学、テーマⅠ・Ⅱ複合型の玉川大学、テーマⅤの茨城大学の取り組みを報告し、さらにパネルディスカッションで広い視野からの議論を行います。3大学の取り組みを俯瞰し、学生の学修行動や学修成果をエンrollment・マネジメントの観点から捉えることにより、各大学の教育改革に資することを期待しています。

日時

2017年3月24日(金)
14:00～17:00(受付 13:00～)

先着限定

130名

入場無料

会場 玉川大学 大学教育棟 2014 612教室

対象 大学・短期大学の教職員およびその関係者

主催：玉川大学

お問い合わせ：玉川大学教学部教育学修支援課(担当 山崎・三ヶ田)

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

TEL: 042-739-8866 E-mail: il-supports@tamagawa.ac.jp